

広報

あしや



2002年(平成14年)3月1日号 No.839 毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課) 0797-31-2121 〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号

芦屋を歩く



つづあり 九十九折のスロープ

中央地区のコミュニティロードから芦屋川教会の裏手へと繋がるスロープ。車いすやベビーカーを利用されるかたにも配慮した設計になっています。

当校舎の建設にあたっては、市内で二例目となるシックハウス症候群に配慮した設計や施工を行っています。

太陽光発電設備を設置

中庭のシンボルツリーが見える「学校ラウンジ」



凡例... 日時(日程)、開催場・場所、内容、対象・定員、講師、出演、費用(記載の無い場合は無料)、所持品、申し込み、お問い合わせ

わたしの伝言板

【雛人形公開展示】

国月・木曜日を除く4月7日(日)まで、10時~16時 図大人500円、小~高校生200円 図山邑家に伝わる雛人形、花嫁人形等 図山邑家住宅(淀川製鋼所迎賓館)(☎38-1720)

【浜風の家の催し】

図 絵本のよみきかせ会10 1日工作教室~ビーズのアクセサリーづくり 紙芝居と人形劇 コンピュータ講座~お花見案内 折り紙(百円塾)~お花畑にいらっしやい 第27回浜風コンサート~16才のピアニスト! 松永美志チャリティーコンサート 人形の洋服づくり 絵本のよみきかせ勉強会 図 3月3日(日)10時30分~ 3月9日(土)13時30分~15時 3月16日(土)14時30分~15時30分 3月20日(水)13時30分~14時30分 3月23日(土)14時30分~16時 3月24日(日)14時~15時 3月26日(火)14時~15時30分 3月28日(木)10時30分~ 図のみ大人1,000円、高校生以下無料 図浜風の家、詳細は右記へ 図浜風の家(☎35-5700)

【芦屋フリーマーケット】

図 3月3日(日)・31日(日)10時~16時 図 JR芦屋駅北側ベディストリアンデッキ 図 服、小物、本、手作り品等。31日の出店希望者は3月10日までに下記へ(参加費1,500円) 図「薫の風」実行委員会事務局・西山(☎34-4680 FAX21-5105)

【丹波の朝採り野菜市】

図 3月6日(水)・20日(水)10時30分~ 図 ワークホームつつじ 図 ワークホームつつじ・藤川(☎22-7044)

【おはなし作りの部屋】

図 3月6日・13日・20日・27日(いずれも水曜日)10時~12時 図 図書館集会所 図 作品の制作、人形劇の練習 図 ぶるん・國川(☎32-4201)

【親子体操】

図 3月7日(木)・14日(木)10時~11時 図 体育館・青少年センター柔道場 図 各500円 図 2・3歳児と保護者 図 ぶるん・井上(☎23-5114)

【中高生のための安らぎの部屋】

図 3月9日(土)・23日(土)13時~16時 30分 図 図書館集会所 図 中高生 図 ヨッシーくらぶ・守上(☎23-6854)

【楽器で遊ぼう!~子どものための体験コンサート~】

図「フルトは何種類?オルガンはどうして鳴る?ハーブのペダルは何のため?」子ども達に贈る楽器の体験コンサート。本物に触ってみよう! 図 3月9日(土)13時~15時30分 図 神戸女学院講堂 図 神戸女学院大学音楽学部(☎0798-51-8550)

【子連れママのためのカフェ】

図 子育て中のお母さんに気分転換をプレゼント 図 3月9日(土)10時~12時 図 南芦屋浜陽光町コミュニティプラザ 図 喫茶代100円 図 子育て支援FSC「おもちゃ箱」・高橋(☎31-9189)

【母と子のいこいの部屋】

図 3月12日・19日・26日(いずれも火曜日)10時~11時30分 図 図書館集会所

【折り紙教室】

図 3月13日(水)10時~12時 図 図書館集会所 図 成人 図 折り紙、はさみ、のり 図 段谷(☎34-2546)

【虹のかたつむりの集い】

映画「森の学校」上映会 図 自然のすばらしさ、家族の絆、命の尊さを21世紀のこどもたちへ 図 3月16日(土) 11時45分~13時30分 14時~15時45分 16時15分~18時 18時30分~20時15分 図 神戸新聞 松方ホール 図 親子ペアー1,800円(前売り)・2,200円(当日)、大人1,300円(前売り)・1,500円(当日)、こども700円(共通) 各回先着100人に記念品プレゼント 図 国際ソロプロテクト六甲事務局・石川(☎35-2002)

【あしやYO倶楽部の催し】

ふれあいの集い 図 3月16日(土)13時30分~16時30分 図 市民センター音楽室 図 歌の玉手箱、ダンス、詩吟、なつめる合唱、演劇、コーラス、日本舞踊など 発足10周年記念・作品展示会 図 3月15日~17日、10時~17時(最終日は15時まで) 図 市民センター多目的ホール 図 絵画、写真、書、陶芸、彫刻、手芸品など 図 阿部(☎23-5909)

【シンポジウム】

宝塚雲雀丘・花屋敷物語 図 3月23日(土)13時30分~15時30分 図 市民センター218室 図 市民活動としての景観への取り組み 図 熊澤良彦(まちづくりデザイナー) 図 500円(資料代) 図 芦屋の景観を考える会・福嶋(☎31-7986)

【春休み子ども自由アトリエ】

図 3月26日(火)、27日(水)、4月2日(火)、3日(水)のいずれか2回。15時30分~17時30分 図 絵画・立体工作など自由に制作 図 高浜町内 図 2,500円(材料費込み2回分) 図 要予約。右記へ 図 芦屋児童美術教育研究会・上住(☎23-5467)

【ユニセフカップ】

2002芦屋国際ファンラン 図 4月14日(日)9時~ 図 芦屋浜SIDE TOWN~南芦屋浜特設コース(メイン会場は中央公園芝生広場) 図 & 図 ファミリー3キロ/1,000円(1人。親子割引有り)、男女5キロ/2,000円、男女4分の1マラソン/3,000円、男女ハーフマラソン/4,000円 図 市役所、体育館・青少年センター、図書館、市民センター、郵便局窓口にある申込書に従い、4月4日(木)<必着>までにお申し込みください 図 サンケイスポーツ(☎06-6343-3564)

【クロリティー(スポーツ輪投げ)交流会】

図 3月30日(土)12時30分~16時30分 図 体育館・青少年センター競技場 図 2人編成で64チームを募集 図 1人200円 図 & 図 3月15日(金)までにクロリティー交流大会事務局(☎22-7910 FAX22-1633)へ

【さくら卓球会会員募集】

図 毎週金曜日、9時~12時 図 体育館・青少年センター 図 初心者歓迎。男女不問 図 月900円 図 浜田(☎23-3648)

地域住民の手で 地域を守ろう 二月七日、市民センター四 一室で「南海地震と津波災害に備えて」をテーマに、「阪南地域ひょうし」防災カレッジ・自主防災組織リーダー研修会(兵庫県阪南民局主催)が開催されました。当日は、自主防災会のかたを始め、二百人を超える市民が参加され、京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・河田恵昭教授の講演や、土佐民話の会主宰の市原麟一郎さんによる昭和南海地震(一九四六年)の体験談に聞き入りました。以下、河田講師の講演の中から、市民の皆さんに知っていただきたいことをまとめました。

今世紀前半には起こるであろうと予想されている南海地震により引き起こされる津波災害について、兵庫県では、マグニチュード八・四の海底地震を想定した被害予測の研究結果を公表しましたが、あくまでも予測で、予測の域を越えた巨大地震が発生する可能性もあります。芦屋川や夙川においては普段流量が少なくないため、巨大な津波が押し寄せると川の上流へさかのぼり、川からの溢水被害は軽微であるが予測していませんが、地震発生時に大雨や台風が発生して、川の水量が増水している状況下では、川の水面を津波が上流に駆けあがり溢水被害が起ることがあります。

大きな災害が起きた場合、行政が被災することも十分考えられます。外からの支援も受けられるとは限りませんが、そのようなとき人命を守り、またの安全を守るのは自分自身であり、近隣の住民なのです。そのために、三日分の食料、水を普段から蓄えておいてください。早めの避難が被害を軽減する自己防衛策ですが、津波は約六時間にわたって数回押し寄せます。地震発生から第一波の津波が押し寄せると、九十分程度の時間がありますので、水門からの浸水被害を食い止めるため、ただ避難するのではなく、地域住民が力を合わせ水門の閉鎖作業等を行ったり、災害弱者の安全を確かめる等、地域住民の大きな力により被害の軽減に努めてください。

市民のひろば

春に現れる大形の蛾

再発見 芦屋の自然

一 芦屋山地のモスラ達

先月号で繭をつくる蛾の話を書きました。今回は、春に現れる大形の蛾について述べよう。 桜の開花も近くなりました。三月下旬頃、山地に近い街灯の周辺などに黒褐色の模様様の前翅に、目立つ縦紋をもち、大形の蛾が止まっていることが多いイボタノキ(モクセイ科)の葉を食べるのでイボタガと呼ばれる蛾です。幼虫は、中には潜りこんで越冬し、羽化して成虫になります。食草はイボタノキ、クマシズメ、トネリコ等です。 また、山地の開けた所などに開花を始めた時、長さ八~十二センチもある大形で後翅の尾を長くひいた青白色の蛾が止まっていることがあり、びっくりさせられます。その翅の色がオオミ



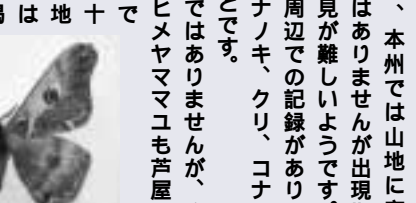
眼紋が目立つイボタガ



四つ目紋が目立つ珍種 エゾヨツメ



春の日、群にぶらさがる オオミズアオ



晩秋に出現する珍しいヒメヤマママユ

前後翅合わせて四つの眼紋があるのがヨツメ。エゾ(蝦夷)の名があるように北方系の昆虫で、北海道では普通ですが、本州では山地に産します。稀ではありませんが出現期早いので発見が難しいようです。芦屋では奥池周辺の記録があります。食草はブナノキ、クリ、コナラ、ハシロキなどです。 春の蛾ではありますが、晩秋に出現するヒメヤマママユも芦屋では珍しいもので、開長九~十センチ、地の色はオリーブ褐色で、雄は、色で、雌は、明い感じ、谷で採集されました。これらのはず、蛾の英名はmothです。





